第二十六條　健康保險組合ハ法人トス

第二十七條　健康保險組合ハ事業主、其ノ事業ニ使用セラルル被保險者及第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條　一又ハ二以上ノ事業ニ付被保險者常時三百人以上使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第二十九條　健康保險組合ヲ設立セントスルトハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作リ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

二以上ノ事業ニ付健康保險組合ヲ設立セントスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十條　前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第三十一條　主務大臣ハ一事業ニ付第十三條ノ規定ニ依リ被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十二條　前條ノ規定ニ依リ健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主ハ規約ヲ作リ設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條　第十四條第一項ノ規定ハ第二十八條第二十九條及第三十一條ノ規定ノ適用ニ付之ヲ準用ス

第三十四條　健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第三十五條　健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

前項ノ被保險者ハ其ノ事業ニ使用セラレサルニ至リタルトキト雖第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タルトキハ仍之ヲ組合員トス

第三十六條　健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第三十七條　主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ事業及財産ノ狀況ヲ檢査シ、規約ノ變更ヲ命シ其他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　健康保險組合ノ役員ニ欠缺若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員保險給付其ノ他其ノ執行スヘキ職務ヲ執行セサルトキハ主務大臣ハ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ其職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ健康保險組合ノ負擔トス

第三十九條　主務大臣ハ健康保險組合ノ決議若ハ役員ノ行爲カ法令、主務大臣ノ處分若ハ規約ニ違反シ、組合員ノ利益ヲ害シ若ハ害スル虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第四十條　解散ニ因リテ消滅シタル健康保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承繼ス

第四十一條　本法ニ規定スルモノヽ外健康保險組合ノ管理財産ノ保管及利用方法、分合、解散其ノ他健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條　同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルヽ被保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四章　保險給付

第四十三條　被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付ヲ爲ス

前項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ保險者ハ被保險者ヲ病院ニ收容スルコトヲ得

第四十四條　療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第四十七條　療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付百八十日ヲ超エテ之ヲ爲サス

業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ一年內百八十日ヲ超エテ之ヲ爲サス

被保險者ハ前ニ項ノ規定ニ拘ラス傷病手當金ノ支給ヲ受クル期間療養ノ給付ヲ受ク

第四十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ前條ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

一　他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ扶助ヲ受クヘキ者ニ付其ノ事業主ヨリ申請アリタルトキ

二　前號以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付ニ要シタル費用ニ相當スル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徵收ス

第四十九條　被保險者死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ被保險者ノ報酬日額ノ二十日分ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其金額カ二十圓ニ滿タサルトキハ之ヲ二十圓トス

被保險者死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クヘキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍內ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十條　被保險者分娩シタルトキハ分娩費トシテ二十圓ヲ出産手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日付報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十一條　保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ分娩費及出産手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十二條　分娩ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分娩前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲ササルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十三條　分娩ノ前後ニ保險者ニ變更アリタル場合ニ於テハ分娩ニ關スル保險給付ニ要スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係アル保險者之ヲ分擔ス

第五十四條　出産手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ハ之ヲ支給セス

第五十五條　被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ受クル者ハ被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間繼續シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第五十六條　前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クル者死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日後九十日以内ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後九十日以内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

前項ノ定規ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クル者ナキ場合及前項ノ埋葬料ノ金額ニ付テハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條　被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分娩シタルトキハ分娩ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ得ヘカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受クルコトヲ得

第五十八條　疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セス

第五十九條　前條ニ揭クル者疾病ニ罹リ負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ其ノ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得サリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徵收ス

第六十條　被保險者又ハ被保險者タリシ者自己ノ故意ノ犯罪行爲ニ因リ又ハ故意事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ヲ爲サス

第六十一條　被保險者鬪爭若ハ泥醉ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルトキハ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第六十二條　保險給付ヲ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險給付ヲ爲サス

一　陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ

二　本法施行區域外ニ在ルトキ

三　感化院其ノ他之ニ準スヘキモノニ入院セシメラレタルトキ

四　監獄、留置場又勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ

他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ病院病舍又ハ療養所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サス

前項ニ揭クル者ニ付テハ第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十三條　保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シ之ニ支給スヘキ傷病手當ノ一部ヲ支給セサルヨトヲ得

第六十四條　保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十五條　保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受クル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得

保險者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ拒ミタル者ニ對シ保險給付ノ全部又ハ一部爲ササルコトヲ得

第六十六條　保險給付ノ支給期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條　保險者ハ事故カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者カ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第六十八條　保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第六十九條　保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス

第五章　費用ノ負擔

第七十條　國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ又健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額カ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユル場合ニ於テ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス

前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條　保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徵收ス

保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條　被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十三條　業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セラルヽ被保險者又ハ少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ增加スルコトヲ得

第七十四條　被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ規定スル制限ヲ超エテ保險料ヲ徵收スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ超過部分ハ事業主ノ負擔トス

第七十五條　健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ增加スルコトヲ得

第七十六條　被保險者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險料ヲ徵收セス

一　傷病手當金又ハ出產手當金ノ支給ヲ受クルトキ

二　第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スルトキ

第七十七條　事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條　事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第七十九條　保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章　審査ノ請求、訴願及訴訟

第八十條　保險給付ニ關ル決定ニ不服アル者ハ第一項健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ第二項健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八十一條　保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不服アル者ハ其ノ處分ヲ爲シタル保險官署又ハ健康保險組合ヲ監督スル保險官署ニ訴願シ其ノ裁判所ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條　前條ノ規定ニ依ル訴願ノ提起アリタルトキハ保險官署ハ第二項健康保險審査會ノ審査ヲ經、主務大臣第三次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第八十三條　健康保健審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條　第十一條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條　健康保險審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關スル規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲ス證據調ニ關シテハ罰金ノ言渡シヲ爲シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得ス

第八十六條　審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日日內ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第百六十七條及第百七十四條乃至第百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第七章　罰則

第八十七條　正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ臨檢ヲ拒ミ若ハ妨ケ又ハ其ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス又ハ虛僞ノ答辯ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條　第八條ノ規定ニ依ル保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サス、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十九條　健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主正當ノ理由ナクシテ主務大臣ノ指定スル期日迄ニ設立ノ認可ヲ申請セサルトキハ其ノ手續ノ遲延シタル期間其ノ負擔スヘキ保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ過料ニ處ス

第九十條　健康保險組合カ第三十七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ケタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

本法ニ基キテ發スル健康保險組合ニ關スル勅令ニ於テハ組合カ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九十一條　前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃行二百八條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四　其他

●中央卸賣市場法

大正十二年三月三十一日
法律第三十二號

第一條　本法ニ於テ中央卸賣市場トハ地方公共團體又ハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ民法第三十四條ノ規定依ル法人カ魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及果實ノ卸賣ヲ爲ス爲主務大臣ノ指定スル都市其ノ隣接地ニ於テ本法ニ依リ開設スル市場ヲ謂フ

中央卸賣市場ニ於テハ特別ノ事情アル場合ニ於テハ前項ニ揭クル物品ノ一部ヲ卸賣ヲ爲サス又ハ其ノ他ノ日用品ノ卸賣ヲナスコトヲ得

第二條　中央卸賣市場ヲ開設セムトスルトキハ業務規程及事業計畫ニ關スル書類ヲ具シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

中央卸賣市場ノ分場ヲ設置セントスルトキ亦同シ

第三條　左ニ揭クル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

一　中央卸賣市場ノ取扱品目

二　中央卸賣市場ノ收受スル使用料、保管料及手數料

三　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ收受スル手數料

第四條　業務規程又ハ事業計畫ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ第二條ノ規定ニ依ル認可ヲ與フルニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第六條　主務大臣ハ第二條ノ規定ニ依ル認可ヲ與フルトキハ其ノ中央市場ノ業務ノ開始ニ至ル迄ノ間ニ於テ開設者ノ意見ヲ聞キ其ノ中央卸賣市場ノ取扱品目ニ付當該指定區域内ニ於テ中央卸賣市場類似ノ業務ヲ爲ス市場ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得中央卸賣市場ノ取扱品目ヲ追加スルトキ亦同シ

第七條　開設者ハ前條ノ規定ニ依リ閉鎖ヲ命セラレタル市場ノ開設者及卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ當事者ノ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ

地方長官ノ決定ニ不服アル者ハ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ九十日内通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八條　主務大臣ハ開設者ニ對シ命令ノ定ムル設備ニ要スル費用ノ三分ノ一以内ノ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第九條　主務大臣ハ開設者カ法令若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ之ニ基キテ爲シタル處分ニ從ハサルトキハ之ニ對シ補助金ノ全部又ハ一部ヲ交付セサルコトヲ得

第十條　地方方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ中央卸賣市場ニ於テ卸賣ノ業務ヲ爲スコトヲ得

第十一條　前條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ開設者ニ保證金ヲ納付スヘシ

第十二條　開設者ハ中央卸賣市場ノ收受スル使用料、保管料及手數料ニ關シ保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

前項ノ優先權ハ第十三條ノ規定ニ依ル優先權ニ優先ス

第十三條　第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ販賣又販賣ノ委託ヲ爲シタル者ハ販賣又ハ販賣ノ委託ニ因リテ生シタル債權ニ關シ其ノ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第十四條　中央卸賣市場ニ於テ爲ス賣買ニ付テハ競賣ノ方法ニ依ルヘシ但シ業務規程ノ定ムル特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ開設者ニ對シ賣買値段及取引高ヲ報告スヘシ

第十六條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ對シ其ノ業務ヲ停止シ若ハ千圓以下ノ過料ヲ課シ又ハ賣買ニ參加スル者ノ入場ヲ停止スルコトヲ得

第十七條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ中央卸賣市場ノ構造、設備、業務規程ノ變更、業務又ハ財産狀況ノ報告其ノ他ニ關シ事業ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコト得

第十八條　主務大臣ハ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、業務規程ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　第二條ノ規定ニ依リ認可ノ取消

二　中央卸賣市場ノ業務ノ停止

三　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務許可ノ取消シ又ハ業務ノ停止

四　第一條ノ法人ノ役員ノ解任

第十九條　主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ官吏ヲシテ開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ業務及之ニ關スル帳簿、財産其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十條　中央卸賣市場ノ廢止ハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依ル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二十二條　第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ第十五條ノ規定ニ基ク報告ヲ爲サス又ハ虚僞ノ報告ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　第六條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者又ハ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務アル者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ前條ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　第六條ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者又ハ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務アル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者右命令又ハ義務ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十五條　法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者第六條ノ規定ニ依ル命令又ハ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲スヘキ義務ニ違反シタルトキハ第二十二條ノ罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

第二十六條　第一條ノ法人又ハ第十條ノ規定ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十九條ノ規定ニ依ル檢査ヲ受ケタル場合ニ於テ職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者又ハ檢査ノ際當該官吏ノ尋問ニ對シ答辭ヲ爲サス若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第一條ノ法人ノ役員其ノ職務ニ付賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シ若ハ約束シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二十八條　前條第一項ノ者ニ賄賂ヲ交付シ、提供シ又ハ約束シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又ハ免除スルコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十二年十月勅令第四百六十八號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行）

●中央卸賣市場法施行規則

大正十二年十月二十九日
農商務省令第十號

第一條　中央卸賣市場ハ一指定區域内ニ於テ一開設者ニ限リ之ヲ開設スルコトヲ得

第二條　中央卸賣市場ヲ開設セムトスル者ハ認可申請書ニ中央卸賣市場法第二條ニ定ムル書類ノ外左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一　中央卸賣市場取扱品目ニ當該指定區域内ニ於ケル集散及消費ノ狀況

二　中央卸賣市場取扱品目ニ付當該指定區域内ニ於テ現ニ卸賣ヲ爲ス市場ノ狀況

三　開設者カ民法第三十四條ノ規定ニ依ル法人ナルトキハ其ノ定款又ハ寄附行爲竝役員ノ氏名及其ノ履歷

四　中央卸賣市場法第一條第一項ニ掲クル物品ノ一部卸賣ヲ爲サス又ハ又ハ其ノ他ノ日用品ノ卸賣ヲ爲サムトスルトキハ之ヲ必要トスル特別ノ事情

第三條　事業計畫ニハ左ニ掲クル事項ヲ定ムヘシ

一　自ラ卸賣ノ業務ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨

二　市場ノ位置及用地ノ面積

三　建物及設備ノ種類及構造

四　市場ノ開設ニ要スル費用竝其ノ財源及償却ニ關スル計畫

事業計畫ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル納類、建物及設備ノ配置及坪數ヲ記入シタル圖面竝市場附近ノ見取圖ヲ添附スヘシ

一　市場取扱品目ニ付取扱見込數量

二　市場ノ收支ノ概算

三　工事ノ着手及竣工ノ見込期日

第四條　開設者自ラ卸賣ノ業務ヲ爲ストキハ業務規程ヲ以テ其ノ取扱品目ヲ定ムヘシ

第五條　開設者分場設置ノ認可ヲ申請セムトスルトキハ其ノ申請書ニ中央卸賣市場法第二條ニ定ムル書類ノ外分場設置ニ必要トスル事情及第二條第四號ニ掲クル事情ヲ記載シタル書類ヲ添付シ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

第六條　中央卸賣市場ノ業務ヲ開始セムトスルトキハ開設者ハ業務開始ノ一月前迄ニ其ノ期日ヲ農商務大臣ニ屆出ツヘシ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ期日ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第七條　中央卸賣市場ノ名稱中ニハ中央卸賣市場ナル文字ヲ用ヰルヘシ

中央卸賣市場ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ中央卸賣市場ナル文字又ハ之ニ類似スル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第八條　農商務大臣ハ左ニ掲クル事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　中央卸賣市場ノ區域ヲ指定シタルトキハ其ノ區域及指定ノ年月日

二　中央卸賣市場ノ開設又ハ分場ノ設置ヲ認可シタルトキハ開設者、市場ノ名稱、位置、取扱品目及認可ノ年月日

三　中央卸賣市場ノ業務ノ開始ノ屆出アリタルトキハ其ノ旨及開始ノ期日

四　中央卸賣市場ノ廢止ヲ認可シタルトキハ其ノ旨及認可ノ年月日

五　中央卸賣市場ノ開設又ハ分場ノ設置ノ認可ヲ取消シタルトキハ其ノ旨及取消ノ年月日

六　中央卸賣市場ノ業務ノ停止ヲ命シタルトキハ停止シタル業務、停止ノ期間及停止ヲ命シタル年月日

七　中央卸賣市場法第六條ノ規定ニ依リ市場ノ閉鎖ヲ命シタルトキハ市場ノ名稱、位置、區域、取扱品目、閉鎖ノ期日及閉鎖ヲ命シタル年月日

第九條　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ハ左ニ掲クル事項ニ付農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一　役員ノ選任及解任

二　收支ノ豫算

二　豫算ニ定メタルモノノ外新ニ義務ヲ負ヒ權利ヲ行フヘキ行爲

四　財産ノ保存方法

前項役員選任認可申請書ニハ履歷書ヲ添付シ收支豫算認可申請書ハ事業年度一月前迄ニ之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

中央卸賣市場法第二條ノ規定ニ依ル認可アリタルトキハ役員選任ニ付第一項ノ認可アリタルモノト見做ス

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ中央卸賣市場法第十條ノ規定ニ依ル卸賣ノ業務ヲ爲ス者トナルコトヲ得ス。

一　一年以上ノ禁錮又ハハ懲役ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ刑ノ執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ三年經過セサル者

二　中央卸賣市場法第十八條ノ規定ニ依リ許可ノ取消ヲ受ケタル者ノ日ヨリ三年ヲ經過セサル者

三　破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

四　前三號ノ一ニ該當スル者ヲ無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員トスル法人

五　信用薄弱ナル者

六　中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者但シ特別ノ事情アリト認ムル者ハ之ヲ除ク

七　社員、株主又ハ組合員中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依リ損失ノ補償ヲ受ケタル者アル法人但シ特別ノ事情アリト認ムル者ハ之ヲ除ク

前項第六號但書又ハ第七號但書ニ該當スル者ニ對シ地方長官卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲サムトスルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　卸賣ノ業務許可ハ本分場及業務規程ヲ以テ定ムル取扱品目ノ種類毎ニ之ヲ爲スモノトス

第十二條　開設者ハ業務規程ヲ以テ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ員數ヲ制限スルコトヲ得

第十三條　卸賣ノ業務ヲ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ第六條

ノ規定ニ依ル業務開始ノ期日前ニ其ノ申請ヲ爲シタルモノニ對シテハ他ノ申請者ニ優先シテ之ヲ爲スモノトス

一　中央卸賣市場ノ開設認可、分場ノ設置認可又ハ取扱品目追加ノ認可アリタル際當該指定區域内ニ於ケル中央卸賣市場類似ノ業務ヲ爲ス市場ニ於テ業務許可ノ申請ヲ爲シタル部類ノ取扱品目ニ付引續キ二年以上卸賣ノ業務ヲ爲シタル者

二　前號ニ該當スル者ヲ以テ主タル組織者ナス法人

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ相續、合併、讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ業務ヲ承繼シタル者ノ業務ヲ爲シタル期間ハ前者ノ業務ヲ爲シタル期間ヲ通算シタルモノトス

第十四條　卸賣ノ業務ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ申請書法人ニ在リテハ左數又ハ之ニ準スヘキモノ、貸借對照表、財産目録、社員、株主又ハ組合員ノ名簿及無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員ノ履歴書ヲ、其ノ他ノモノニ在リテハ履歴書及業務説明書ヲ添付シ開設者ヲ經由シテ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

開設者ハ前項ノ申請者ニ意見書ヲ添付スヘシ

開設者卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ員數ヲ制限シタルトキハ缺員アル場合ニ非サレハ第一項ノ申請書ヲ地方長官ニ提出スルコトヲ得ス

第十五條　地方長官卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲サザルトキハ開設者ヲ經由シテ其ノ旨本人ニ通知スヘシ

第十六條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十條第一號若ハ第三號ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十五日内ニ保證金ヲ納付セス若ハ一月内ニ其ノ業務ヲ開始セサルトキハ業務許可ハ其ノ效力ヲ失フ

卸賣ノ業務ヲ爲ス者第十條第四號乃至第七號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上其ノ業務ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ業務許可ヲ取消ス

第十七條　地方長官ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ニ付左ニ掲クル事項ヲ告示スヘシ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　業務許可ヲ爲シタルトキハ其ノ氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ種類及許可ノ年月日

一　資格ヲ失ヒタルトキハ其ノ事由、氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及資格ヲ失ヒタル年月日

三　業務ノ停止アリタルトキハ其ノ事由、停止ノ期間、氏名又ハ名稱、營業所、取扱品目ノ部類及停止ノ年月日

第十八條　中央卸賣市場法第十一條ノ規定ニ依ル保證金ノ額ハ取扱品目ノ部類毎ニ千圓以上二萬圓以下ノ範圍ニ於テ業務規定ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由アル者ニ付テハ農商務大臣ハ別段ノ額ヲ指定スルコトアルヘシ

開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人保證金ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク之ヲ供託スヘシ

第十九條　保證金ハ開設者ノ定ムル所ニ依リ有價證券ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ有價證券ノ種類又ハ其ノ代用價額ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第二十條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ當該指定區域内ニ於テハ其ノ業務ヲ行フ市場外ニ於テ自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬スル物品ノ賣買ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外自己ノ計算ヲ以テ取扱物品ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ市場内ニ在ル物品ニ非サレハ其ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス但シ當該指定區域内ニ於テ開設者ノ指定スル場所ニ在ル物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル手數料ヲ除クノ外如何ナル名義ヲ以テスルヲ問ハス其ノ業務ニ關シ報償ヲ受クルコトヲ得ス

第二十四條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ業務規程ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ業務ヲ行フ市場ニ於テ自己ノ取扱品目ノ部類ニ屬スル物品ノ賣買ニ參加スルコトヲ得ス

第二十五條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ受託契約ニ關スル準則ヲ定メ開設者ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

開設者前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ其ノ準則ヲ農商務大臣ニ屆出ツヘシ

農商務大臣必要ト認トルトキハ受託契約ニ關スル準則ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十六條　中央卸賣市場法第十五條ノ規定ニ依ル報告ハ開設者ノ定ムル所ニ依リ卸賣ヲ爲シタル物品ニ付品目、種類及産地ヲ區別シテ遲滯ナク之ヲ爲スヘシ

第二十七條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ賣買ニ參加スル者ヲシテ保證金ヲ納付セシムルコトヲ得

第十八條第二項及第十九條ノ規定ハ前項ノ保證金ニ付之ヲ準用ス

第二十八條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ仲買人ヲシテ賣買ニ參加セシムルコトヲ得

仲買人ノ資格、員數、處分其ノ他仲買人ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條　中央卸賣市場ハ毎日一定ノ時ニ於テ市場ヲ開クヘシ

開市及休業ニ關スル事項ハ業務規程ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十條　賣買成立ノ値段ハ金額ヲ以テ之ヲ表示スヘシ

第三十一條　開設者又ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ正當ノ事由ナクシテ賣買ノ委託ノ引受又ハ賣買ノ參加ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十二條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ賣買ニ參加スル者ノ市場ニ於ケル賣買ヲ差止ムルコトヲ得

第三十三條　卸賣ノ業務ヲ爲ス者其ノ資格ヲ失ヒタルトキ業務ヲ停止サレタルトキ又ハ前條ノ規程ニ依リ賣買ヲ差止メラレタルトキハ開設者

ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ニ對シ販賣ノ委託アリタル物品ニ付自ラ卸賣ヲ爲シ又ハ其ノ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ナシテ卸賣ヲ爲サシムヘシ

第三十四條　本則ニ定ムルモノノ外販賣ノ委託ヲ爲シタル者ニ對スル通知、卸賣ノ仕切其ノ他卸賣ノ業務ニ關シ必要ナル事項ハ業務規定ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十五條　開設者業務規程ノ施行ニ關スル細則ヲ定メタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ細則ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第三十六條　開設者ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス者ノ用ヰルヘキ業務ニ關スル帳簿及賣買仕切書ノ樣式ヲ定ムヘシ

卸賣ノ業務ヲ爲ス者ハ前項ノ規定ニ依ル樣式ト異ナル樣式ノ帳簿及賣買仕切書ヲ用ヰルコトヲ得ス

第三十七條　開設者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ賣買値段及取引高ヲ毎日市場ニ公示スヘシ

第三十八條　開設者ハ左ノ書類ヲ作成シ遅滯ナク之ヲ農商務大臣ニ提出スヘシ

一　毎月賣買値段表

二　毎月取引高表

三　毎期收支計算及事業報告書

開設者ハ卸賣ノ業務ヲ爲ス法人ノ社員、株主又ハ組合員ノ毎期末日現在名簿ヲ作成シ遅滯ナク之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第三十九條　左ノ場合ニ於テハ開設者ハ遅滯ナク其ノ事項ヲ農商務大臣ニ屆出ツヘシ

一　中央卸賣市場法第七條第二項ノ規定ニ依ル協議調ヒタルトキ

二　中央卸賣市場法第十六條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

三　中央卸賣市場法第十八條第三號ノ處分ヲ爲スヘキ事由アリト認メタルトキ

四　臨時ニ開市シ若ハ休業シタルトキ

五　第三十二條ノ規定ニ依ル賣買ノ差止ヲ爲シタルトキ

六　開設者、開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員、卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ其ノ無限責任社員若ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員其ノ職務又ハ業務ニ關シ訴訟ノ當事者トナリタルトキ及其ノ判決アリタルトキ

七　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員ニ退任アリタルトキ

八　開設者タル中央卸賣市場法第一條ノ法人ノ役員、卸賣ノ業務ヲ爲ス者又ハ其ノ無限責任社員若ハ取締其ノ他業務ヲ執行スル役員現職ノ嫌疑ノ爲起訴セラレタルトキ

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ外屆出ツヘキ事項ヲ指定スルコトアルヘシ

第四十條　左ノ場合ニ於テハ開設者ハ遅滯ナク其ノ事項ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ第二號ノ場合ニ於テハ其ノ屆書ニ履歴書ヲ添付スヘシ

一　卸賣ノ業務ヲ爲ス者其ノ氏名又ハ名稱ヲ變更シタトキ

二　卸賣ノ業務ヲ爲ス法人ノ無限責任社員又ハ取締役其ノ他業務ヲ執行スル役員ニ變更アリタルトキ

三　卸賣ノ業務ヲ爲ス者死亡又ハ解散、廢業又ハ第十六條第一項ノ規定ニ依ル業務許可ノ失效ニ因リ其ノ資格ヲ失ヒタルトキ

四　第十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スヘキ事由アリト認メタルトキ

地方長官ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ外屆出ツヘキ事項ヲ指定スルコトヲ得

第四十一條　左ノ場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ事項ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

一　中央卸賣市場法第七條第二項ノ規定ニ依ル決定ノ求アリタルトキ及其ノ決定ヲ爲シタルトキ

二　卸賣ノ業務ノ許可ヲ爲シタルトキ

三　中央卸賣市場法第十八條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スヘキ事由アリト認メタルトキ

四　第十六條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

五　第四十條第一項第一號乃至第三號ノ屆出アリタルトキ

第四十二條　開設者ヨリ農商務大臣ニ提出スル書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

地方長官ハ第二條及第五條ノ許可申請書並第三十九條第一項第三號ノ場合ニ於ケル屆書ニ意見書ヲ添附スヘシ

第四十三條　中央卸賣市場法第七條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ市場ノ開鎖命令アリタル日ヨリ起算シ九十日內ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ期間經過前ニ第十四條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲シタル者ニ付テハ其ノ期間經過後ト雖卸賣ノ業務ノ許可又ハ不許可ノ處分アリタル日ヨリ起算シ三十日內ハ之ヲ爲スコトヲ得

附　則

本則ハ大正十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年十二月二十五日印刷
大正十二年十二月二十八日發行

京都府社會課

印刷者　京都市上京區下立賣小川東入　中西勝太郎

印刷所　京都市上京區下立賣小川東入　中西印刷合名會社

〔非賣品〕

ミロ B 96